

組合も“自己変革力”で 新たな価値を見出す。

自己変革力が必要な時代へ

伴走支援による新たな取組へ

物価高や賃上げ、深刻な人手不足、事業承継・後継者問題、国際情勢等、組合（業界）を取り巻く環境が激変するような不確実性の高い時代にあっては、その変化に柔軟に対応する「自己変革力」が不可欠です。そのような中、組合（業界）が活性化するためにも、既存の在り方にこだわらず、新たな領域へ踏み出すことが重要となります。



しかし、組合が単独で新たな取組に挑むことは困難です。そこで、第三者による伴走支援を通じ、“共創”することで、新たな方向性を創出することが可能となります。従来にとらわれない発想から、本質的課題を発見することで、組合活性化につながり、また「自走化」を意識した自己変革力が養われます。



自己変革への「5つの壁」



(参考) 「中小企業白書2022」第3章共通基盤としての取引適正化とデジタル化、経営力再構築伴走支援より

例えばこんな課題はありませんか？

- [ケース1] 組合としての存在価値が見い出せず困っている。組合員のための新たな取組を検討したい。
- [ケース2] 既存事業の見直し、または新規事業を検討したいので、専門家の継続的なバックアップがほしい。
- [ケース3] 組合役員が一新された。この機会に組合としての存在意義を改めて見直したい。
- [ケース4] 組合事業が低迷しているが、事業再構築に取組み共同事業の活性化を図りたい。

経験豊富な専門家とともに、中央会指導員が
新たな取組に向けて全力サポート！

組合や中小企業の経営についてバックアップします。
奈良県中小企業団体中央会
×
一般社団法人 **奈良県中小企業診断士会**

「自己変革力・実行力の創出」を通じて組合の“本質的課題”を解決するために「専門家」と「中央会」が徹底した伴走支援を行うプログラム
それが、**がんばる組合経営力強化・再構築支援プログラム**

プログラムの流れ

7月7日（月）▶▶▶キックオフセミナー（無料） 場所：ミグランス橿原市役所分庁舎
14:00~16:00

本事業の理解を深めるためのキックオフセミナーです。現在の経済情勢も交えながら、自組合の課題について考えます。

【講習】

■経営課題のタイプについて

経営課題とは組合の経営の改善や改革を進めるために取り組むべきテーマ。経営課題には3つのタイプがあり自組合の抱える課題が「どのタイプか」を確認し、「自組合の経営課題」の整理を進めます。

■活用組合の事例紹介

過去2年間で本事業を活用した組合の取組事例を紹介し、取組事例を知ることで、自組合での活用イメージをしていただきやすくなり、それにより組合全体の活性化につながることを期待できます。

【ワーク】

■経営課題分析・ギャップ分析

自組合の課題は何か、課題は3つのタイプのどれに該当するかを確認。また理想の状態と現在の状況とギャップを解決するために、やるべきことを洗い出す課題抽出方法で、ギャップ解消に必要な解決策を検討します。

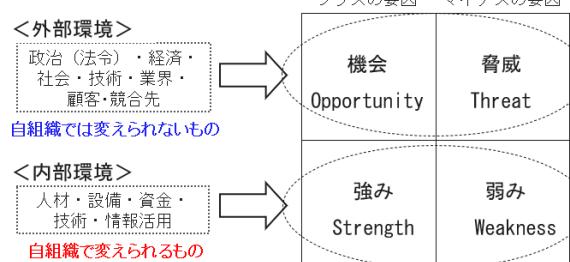
公募（4組合）

審査・選定を経て8月以降に以下の支援を行います。

8月上旬 ▶▶▶ 集合研修

現状課題の把握・対応の目標設定を行います。検討方法については、各組合の課題に合わせた思考ツールを活用して、担当する専門家及び中央会指導員と共同で進めていきます。

【SWOT分析】



進め方として、組合の課題に合わせた思考ツールを活用して、課題の生じた状況・背景・原因・改善策等分析や対応の検討・指導を行います。また、その内容を確認しながら、現状の問題点・組合の持っている想い・志・使命・夢・実現したいこと等を担当する専門家がしっかりお聞きした上で進めます。ご参加の際には構えることなく、安心してご参加ください。



8月~2月 ▶▶▶ 個別支援（計5回の訪問支援）

集合研修において見えてきた課題・目標に対して実現可能性を模索しながら、解決方法及び取組方針の検討を行います。

【流れ】

- [1回目] 思考ツールを用いた分析の内容を再確認し、課題の深掘りを行います。
- [2回目] 取り組むべき課題を明らかにし、優先順位をつけます。
- [3回目] 優先度が高い課題の課題解決方法案を検討し、具体化します。
- [4回目] 組合活動変革に結びつけるための実行内容と実行計画を具体化します。
- [5回目] 組合活動変革の実行内容・実行計画・成果目標を共有し、活動のスタートを宣言します。



※上記流れは標準的なものであり、組合に合わせた最適な支援内容になるよう柔軟に対応する予定です。

5回の訪問支援だけでなく、支援間に中央会指導員によるフォローアップを繰り返し行い、より効果的に成果につながるよう支援します！

3月▶▶▶ 成果普及報告会

本事業の取組事例について、他組合への普及を行うことで組合全体の活性化につながることを期待できます。

【成果発表】

本事業の取組における成果を発表いただきます。本プレゼンは組合内部へ共有するためのツールとしても期待できます。

【ディスカッション】

本事業の成果に対して、意見交換を行います。新たな視点での気づきや改善点によりブラッシュアップができます。

